

# 憲法と平和を守るために働く公明党! このたびの安全保障法制の整備に関する公明党の果たした役割について

去る7月1日、政府は、「国の存立を全うし、国民を守るために切れ目がない安全保障法制の整備について」を閣議決定しました。

この間、このたびの安全保障法制の整備に関する公明党の果たした役割について、多くの方々よりお問い合わせを頂きました。

5月15日、安倍総理の私の諮問機関「安全保障の法的基盤の再構築に関する懇談会」から、報告書が提出され、安倍総理は、自民党と公明党との与党協議に安全保障法制の整備についての検討を委ねました。

その後、公明党は、7月1日の閣議決定に至る間、自民党との与党協議を11回、公明党内協議を14回行ってきました。与党協議は、集団的自衛権の行使容認や、憲法の解釈変更のために議論していたわけではなく、あくまでも日本を守るために、切れ目がない安全保障体制を作るために議論をしてきました。

公明党は、国際法上認めている「他国を防衛するいわゆる集団的自衛権」を完全に否定し、自衛権行使・新3要件においては、しっかりと歯止めをかけ、憲法9条の下での自衛の措置の限界を定めました。これからも、世界の平和と安定の基軸となる日本を構築して参ります。

## ふるさと春日部地域要望

武里団地交番前縁石のペイント工事  
踏切手前歩道の花壇撤去工事  
けやき通りの横断歩道修繕工事

武里団地周辺の各所から寄せられたご要望において、地元の中川あきら市議らと連携し、工事が実施され過日完了しました。



### 歩道段差補修工事

県道春日部・松伏線の藤塚地内の歩道は幅が狭い上に段差があり危険なため、鈴木かずとし市議らと連携し、県当局に働きかけ、段差補修工事が実施され過日完了しました。



### 会之堀川沿い樹木伐採工事

一ノ割3丁目付近の、会之堀川にかかる下根橋の脇の樹木が視界を遮り危険との声が寄せられたため、木村けい一市議と連携し、県当局に要望し、伐採工事が行われ過日完了しました。



県政に関するご意見・ご要望をお寄せください。



埼玉県議会議員 ごんもり幸男

TEL 048-822-9606 FAX 048-822-9408  
〒344-0011 埼玉県春日部市藤塚250-337 TEL·FAX 048-738-2364



# ごんもり幸男 ゆき お 県議会ニュース



県政相談はお気軽に TEL·FAX048-738-2364 E-mail:yukio@gonmori.com

フェイスブックを始めました



ごあいさつ

埼玉県議会議員



権守幸男

皆さま、こんにちは。日頃から絶大なるご支援誠にありがとうございます。この度、埼玉県議会において6月定期例会が開会され、私、ごんもり幸男は7月1日に一般質問に登壇させていた

だきました。  
認知症対策や在宅介護をされている方への支援策の他、春日部市における河川・下水道の一体的整備の推進についてなど、9項目にわたり質問をさせていただきました。



これからも、より地域に密着した活動で現場第一主義を貫き、皆さまからのご意見・ご要望を県政へ届けて参ります。何卒、皆さまからの更なるご指導、ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。



## ごんもり幸男の主な活動についてご報告します

4月

16(水) 埼玉県議会臨時議会  
(於:県議会議事堂)

20(火)

県議会運営委員会視察  
(於:岩手県議会、岩手県立総合防災センター)



5月

9(金) 平成26年度中川・綾瀬川流域改修促進期成同盟会  
(於:商工振興センター)

21(水)

県議会運営委員会視察  
(於:秋田県議会)



14(水) 平成26年度春日部駅付近連続立体交差事業促進期成同盟会定期総会  
(於:商工振興センター)

26(月)

第34回東埼玉道路建設促進期成同盟会定期総会  
(於:ふれあいキューブ)

19(月) 県議会運営委員会視察  
(於:陸前高田市議会・奇跡の一本松)



6月

3(火) 県議会6月定期会 開会  
(於:県議会議事堂)

4(水) 土地都市整備委員会視察  
(於:さいおんスクワア・国営沖縄記念公園海洋博地区)



5(木) 土地都市整備委員会視察  
(於:沖縄県那覇浄化センター)



16(月) 県議会運営委員会  
(於:県議会議事堂)



# 認知症対策について

## ①行方不明者への対応について

### ごんもり幸男質問

認知症などによる行方不明者の対策について、県内市町村や他の都道府県とどのように連携を取り、情報を共有していくのか、知事部局として、どのように対応していくのかを伺う。

## ②安心して過ごせる地域づくりについて

### ごんもり幸男質問

志木市でおこなった模擬訓練のノウハウを県内市町村に紹介し、安心して過ごせる地域づくりを県内に広めるべきと考えるが、福祉部長の所見を伺います。

また、座学の認知症センター養成講座と実践の模擬訓練をセットにすれば、より効果が高く、相乗効果を得られると考えるが、併せて、

福祉部長に伺う。

▲H26.7.3 埼玉新聞



### 上田清司知事答弁

認知症高齢者は今後ますます増加することが予想され、徘徊などに伴う行方不明者も増加していくものと思われます。本年3月に、県は、行政と警察が協力して行方不明者を発見するために整備した「埼玉県認知症高齢者等徘徊SOSネットワーク」を活用し、民生委員や認知症センターなどによる見守り体制を更に充実させます。

### 福祉部長答弁

認知症等の高齢者への声掛け訓練の必要性を周知することにより、多くの市町村において訓練が実施されるよう働き掛けてまいります。

また、地域の中で認知症の方々や家族を温かく見守り支援してくれる認知症センターは、県内で約17万人が養成されています。養成講座と模擬訓練をセットで行う提案は、大変示唆に富むものです。

今後は、既に認知症センターの方に模擬訓練を実施するよう市町村に働き掛けてまいります。また、養成講座のプログラムの一部に模擬訓練を取り入れてもらうよう市町村に働き掛けてまいります。

ごんもり幸男  
埼玉県議会6月定例会一般質問 質問要旨（抜粋）

# 河川・下水道の一体的整備の推進について

### ごんもり幸男質問

春日部市では、記録的な雨量や局地的大雨などにより、たびたび家屋の浸水被害や道路・アンダーパスなどが冠水し、通行止めになっています。

特に、春日部駅の南側の大沼、谷原、豊町地区などでは、土地が低く排水がされにくいため、長時間にわたって浸水が続くことも多々あり、市民生活に大きな影響が生じています。

県と春日部市が取り組む河川・下水道の一体的整備について、現在の状況と今後の進め方について伺う。



### 県土整備部長答弁

現在の状況については、去る5月23日、県と春日部市で第1回河川・下水道事業調整協議会を開催し、大沼・谷原・豊町地区を始め市内で発生している浸水被害の状況などについて情報共有と現地確認を行った。

今後の進め方については、これら3地区の浸水被害があった地区を対象に、県と市が協働して、土地の高さや河川へ排水している水路や下水道の流下能力、排水口の位置や構造などについて、詳細な調査を行う。1日も早く浸水被害の軽減が図られるよう、春日部市と協力し、取り組んでまいります。

# 在宅介護をされている方への支援策について

### ごんもり幸男質問

- 介護離職を防ぐために、フレックスタイムや短時間勤務などの仕組みづくりについて県としてどう推進するのか伺う。
- 介護休暇や介護休業の現状についてどのように受け止めているのか。また、今後の取り組みについても伺う。

- 非正規労働者など現行制度の対象外となる方をどのように支援していくべきか伺う。



### 上田清司知事答弁

① 県は、介護や育児による離職を防ぐため、フレックスタイムや短時間勤務など、仕事と家庭の両立支援に取り組む企業を平成24年から「多様な働き方実践企業」として認定しており、既に1,025社を認定済みですが、平成27年度までに2,000社の認定を目指す企業に働きかけてまいります。

② 今後生産年齢人口が減少していく中で、仕事と家庭を両立しやすい環境をつくり、様々な技術や経験を持ったスキルの高い人材を確保することが極めて重要でございます。

今年度は、こうした具体的な事例を示しながら5,000社の企業トップに対し多様な働き方の導入について働き掛けを行ってまいります。

③ 介護休暇などの制度は育児・介護休業法で定めていますので、今後見直しを国に要望してまいります。

# 「ロコモ」について

### ごんもり幸男質問

- 「ロコモ」とは、「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」の略称で、骨や関節、筋肉などの運動器の障害のために、移動機能の低下をきたした状態で、進行すると要介護のリスクが高くなることとされています。県民の方に、「ロコモ」に対する理解を深めてもらうため、積極的な啓発活動をすべきと考えるが、見解を伺う。

- 健康長寿日本一を目指す本県だからこそ、高齢者に勧めている「ロコモ」の予防策である「ロコモーショントレーニング」通称「ロコトレ」※を県内に普及すべきと考えるが、見解を伺う。

※ロコトレの基本動作は、片脚立ちとスクワット。

### 保健医療部長答弁

① 草の根レベルで健康情報を広める健康長寿センターの養成を通じて、「ロコモ」の啓発を進めています。

② 「ロコモ」予防となる「ロコトレ」を更に県内に普及させることにより、健康長寿の延伸を図り、健康長寿社会の実現につなげてまいります。



### この他 ◎障がい者グループホームの更なる普及について

- 既存住宅の活用について
- サービス管理責任者の養成について

### ◎骨髄移植ドナー登録の推進について

- 可搬型の災害用医療資材・救急医療セットを防災拠点校に備えておくことについて

- 感染症対策について

- 県立学校の敷地に浄化槽を埋設することについて

### ◎2014ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムの共催について

### ◎梨の害虫カメムシの対策について

質問いたしました。